

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公表番号】特表2014-510064(P2014-510064A)

【公表日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-555631(P2013-555631)

【国際特許分類】

C 07 C	49/84	(2006.01)
C 07 C	205/45	(2006.01)
A 61 K	31/12	(2006.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 K	31/573	(2006.01)
A 61 K	31/57	(2006.01)
A 61 P	37/02	(2006.01)
A 61 P	37/06	(2006.01)
A 61 P	27/16	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 P	17/02	(2006.01)
A 61 P	19/00	(2006.01)
A 61 P	27/14	(2006.01)
A 61 P	3/10	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	13/12	(2006.01)
A 61 P	35/02	(2006.01)
A 61 P	25/22	(2006.01)
A 61 P	11/00	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	11/16	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	7/04	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	25/14	(2006.01)
A 61 P	25/16	(2006.01)
A 61 P	21/02	(2006.01)
A 61 P	31/12	(2006.01)
A 61 P	31/16	(2006.01)
A 61 P	1/12	(2006.01)
A 61 P	1/08	(2006.01)
A 61 K	9/72	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	49/84	C S P C
C 07 C	49/84	D

C 0 7 C	205/45	
A 6 1 K	31/12	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/573	
A 6 1 K	31/57	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	27/14	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/16	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/14	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 P	1/12	
A 6 1 P	1/08	
A 6 1 K	9/72	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

**【手続補正書】**

【提出日】平成27年2月27日(2015.2.27)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

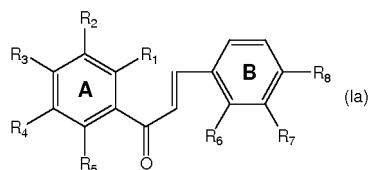
【補正方法】変更

**【補正の内容】**

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

化学式(Ia)：



を特徴とする化合物であって、

ここで、R<sub>1</sub>，R<sub>2</sub>，R<sub>3</sub>，R<sub>4</sub> 及びR<sub>5</sub>は、R<sub>1</sub>，R<sub>2</sub>，R<sub>3</sub>，R<sub>4</sub> 及びR<sub>5</sub>の少なくとも一つがアルコキシリル基であるとの条件で、それぞれ、Hとアルコキシリル基からなる群から個別に選択され、

R<sub>6</sub>とR<sub>7</sub>は、R<sub>6</sub>とR<sub>7</sub>の少なくとも一方がCF<sub>3</sub>又はNO<sub>2</sub>であるとの条件で、それぞれ、H，CF<sub>3</sub>及びNO<sub>2</sub>からなる群から個別に選択され、

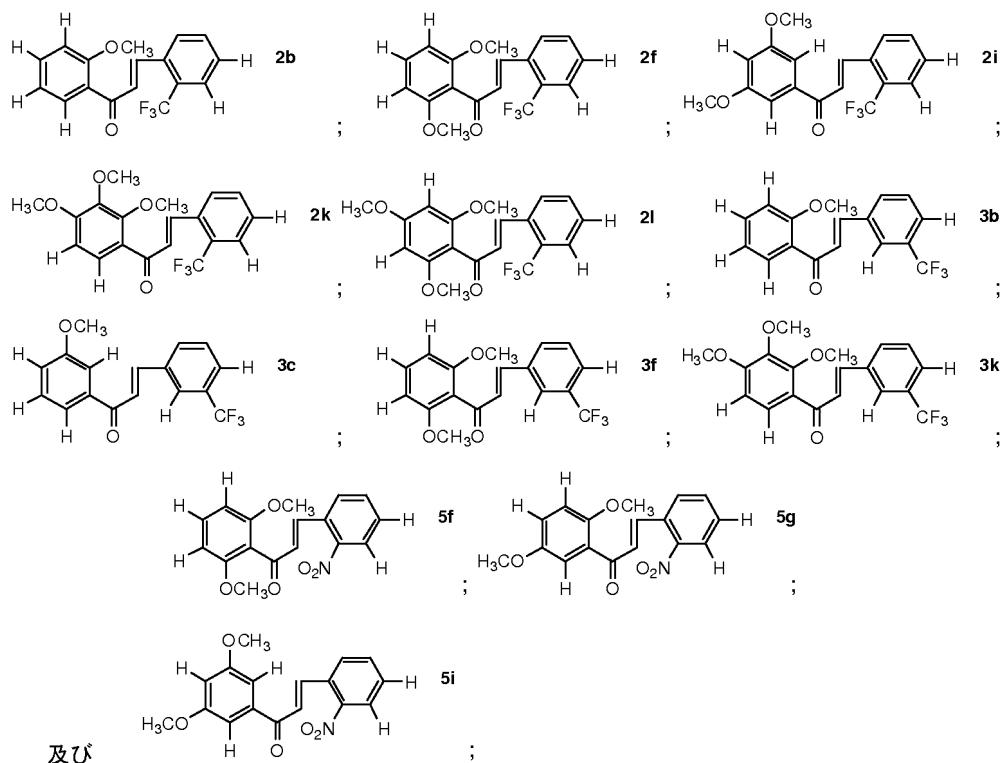
R<sub>8</sub>はHであり、

R<sub>6</sub>又はR<sub>7</sub>がCF<sub>3</sub>であれば、R<sub>1</sub>とR<sub>3</sub>、又はR<sub>2</sub>とR<sub>3</sub>，またはR<sub>1</sub>とR<sub>4</sub>は両方がアルコキシリル基にならないとの更なる仮定の下、

化学式(Ia)の化合物とその薬学的に許容可能な塩。

#### 【請求項2】

請求項1に記載の化合物において、化学式(Ia)の化合物が、以下の化学式：



からなる群から選択されたものである化合物と、その薬学的に許容可能な塩であることを特徴とする化合物。

#### 【請求項3】

化学式(Ia)の化合物を含む医薬組成物と、その薬学的に許容可能な塩。

#### 【請求項4】

請求項3に記載の医薬組成物が更に、副腎皮質コステロイド、抗生素質、及びこれらの組み合わせからなる群から選択した一またはそれ以上の化学物質を含み、前記副腎皮質コステロイドが、デキサメタゾン、フルニソリド、プロピオニ酸フルチカゾン、トリアムシノロンアセトニド、ベクロメタゾンジプロピオネート、ブデソニド、プレドニゾン、プレドニゾロン、及びメチルプレドニゾロンからなる群から選択され、前記医薬組成物が吸入又は経口投与用に製剤されていることを特徴とする医薬組成物。

**【請求項 5】**

治療的有効量の化学式（Ia）の化合物と、前記キットの使用指示書をえることを特徴とする放射線損傷を治療又は防止するキット。

**【請求項 6】**

Nrf2の生物活性又はNrf2の発現を高めるのに有効な量の化学式（Ia）の化合物を含むーまたはそれ以上の粒子を分散させ、対象の肺組織にある当量の当該粒子を送達するデバイスであって、当該デバイスが吸入器、定量吸入器、ドライパウダー吸入器からなる群から選択されることを特徴とするデバイス。